

平成31年度 子ども・若者支援予算要求のポイント

〈基本的な考え方〉策定から2年目となる「子ども・若者支援総合計画」を推進する観点から事業を充実

- ① 子どもを産み、育てやすい環境づくりのため、子育ての心理的・経済的負担の軽減、両立支援、子育て安心県づくりによる少子化への歯止め
- ② 置かれた環境にかかわらず自分の未来を切り拓ける社会づくりのため、家庭養育の補完、家庭的養護の推進などの課題への対応強化
- ③ 子どもたちの生き抜く力を育むため、幼児教育支援センター機能の構築、信州やまほいくの質の向上など保育・幼児教育の質の向上

子どもを産み、育てやすい環境づくり ー少子化への歯止め

「子ども家庭支援ネットワーク」の構築

- 子ども家庭支援ネットワーク普及促進事業【319千円】〔県民文化部〕
市町村の調整機能を強化する先進的取組を横展開
- 児童家庭支援センター設置促進（拡）【55,067千円】〔県民文化部〕
市町村支援を行う児童家庭支援センターを設置する児童養護施設への支援

- スクールソーシャルワーカー活用事業（拡）【22,534千円】〔教育委員会〕
SSWを増員して教育事務所の他、市教育委員会にも配置
- スクールカウンセラー事業（拡）【1,541千円】
SCが学校外の子どもの居場所に向いてカウンセリング〔教育委員会〕

経済的負担の軽減

- 給付型奨学金の充実（拡）〔県民文化部〕
・飛び立て若者！奨学金【16,200千円】
・県内大学進学・修学奨学金【29,750千円】

- 福祉医療費給付事業〔健康福祉部〕
子ども医療費の現物給付により窓口負担を軽減

子育てと仕事の両立支援

- 子ども・子育て支援事業【1,608,927千円】
病児保育事業など子育て支援サービス等を実施する市町村を支援（補助率1/3）〔県民文化部〕
- 保育士の確保（拡）【14,011千円】
「保育士人材バンク」の運営（待機児童ゼロへの取組）〔県民文化部〕

- 地域型保育事業等設置促進事業（新）【83,372千円】〔県民文化部〕
待機児童解消のため多様な保育形態を支援
- 職場環境改善促進事業【29,495千円】
企業に対する多様な働き方制度の導入の働きかけ等〔産業労働部〕

置かれた環境にかかわらず自分の未来を切り拓ける社会づくり

家庭養育の補完等

- 子どもの居場所づくり、学習支援
・信州こどもカフェ運営支援事業（新）【3,260千円】
企業寄付金を活用しこどもカフェや地域プラットフォームへ運営費補助〔県民文化部〕
- ・生活困窮家庭の子どもに対する学習支援（拡）【11,987千円】
学習支援協力員が個別に家庭訪問し学習支援の取組をする町村の増〔健康福祉部〕

家庭的養護の推進

- 児童家庭支援センター設置促進（拡）（再掲）【55,067千円】〔県民文化部〕
- 児童養護施設を退所する子どもの自立支援・アフターケア（新）【26,309千円】
退所に向けた計画策定、退所後の相談支援を行う施設への支援〔県民文化部〕

発達障がい者等の支援の充実

- 発達障がい診療人材育成事業（拡）【19,992千円】〔健康福祉部〕
専門医等の人材育成により全県で格差なく診療が受けられる体制を整備
- 子ども・若者支援地域協議会事業（拡）【21,770千円】〔県民文化部〕
ニートやひきこもり等への相談支援機能の強化

児童虐待等の防止強化

- 児童相談所・一時保護所等機能充実事業（拡）【13,467千円】〔県民文化部〕
弁護士、一時保護所の学習支援員の配置充実
- 児童相談所体制強化（拡）
児童福祉士を増員〔県民文化部〕

子どもたちの生き抜く力を育む

- 幼児教育支援センター運営事業（新）【4,368千円】〔教育委員会、県民文化部〕
すべての就学前児童が質の高い幼児教育を受けられる体制を整備するためセンターを設置

保育・幼児教育の質の向上

- 信州やまほいく（信州型自然保育）普及事業【29,348千円】〔県民文化部〕
・信州型自然保育認定団体の人件費及びフィールド整備等に対する助成
・全国の自治体との連携による自然保育の質の向上と県内外への情報発信等（新）

社会全体で子ども・若者を支援

○長野県将来世代応援県民会議における県民運動の更なる推進

○子どもの未来応援基金（仮称）の設置検討